

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1570300564		
法人名	上越老人福祉協会		
事業所名	グループホームなかよし寿の家		
所在地	新潟県上越市大字北新保55-3		
自己評価作成日	平成30年10月8日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/15/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&JigyosyoCd=1570300564-00&PrefCd=15&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人新潟県介護福祉士会		
所在地	新潟県新潟市中央区上所2-2-2		
訪問調査日	平成30年11月27日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

1. 特別養護老人ホームが母体となっており、近隣に位置することから医療、栄養、機能訓練等のお専門職からの指導、助言、支援が得やすい。災害時の支援体制や日常的にも行事の参加、車両の借用、施設周辺の整備、修繕の協力もある。その他にも法人内に特別養護老人ホーム(2か所うち1か所はサテライト型)、老人保健施設、グループホーム(3)小規模多機能居宅介護(2)地域包括支援センターが協力体制がある。
2. 近隣に精神科の協力病院あり、認知症専門医による継続的な治療、観察が受けられる。
3. ユニット間に畑があり冬季をのぞき野菜の栽培、収穫を身近に感じられるとともに、ユニット間の交流の場にもなっている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- 医療機関との連携と安心できる生活支援について
近隣には母体となる特別養護老人ホームがあり、栄養管理・行事等の参加・車両の借用が日常的に行われ、災害時の協力体制も整備されている。また、近隣の病院が主体となっており、「稲作ケアプロジェクト」に継続的に参加し、農作業を通して認知症状の気持の変化や生活状況等医療との連携が図られている。定期受診も近隣の医療機関に受診するため、グループに分けて職員が付き添い、日常の様子を主治医に伝えている。日常的に医療との連携が充実しており安心した生活環境が整っている。
- 利用者が役割を持って自分らしく生活できる支援の取り組み
利用者は男性も多く、集落のごみ収集場所の掃除や玄関掃除、買い物等、活躍する場を、さりげなく言葉かけなどを通して支援している。女性利用者には食事の用意や後片付けなど、家事支援が継続できるよう役割分担が出来ている。利用者の利用前の生活状況、身体状況の把握を丁寧に行い、入居後も日常的な会話の中から、興味がある事やできる事を探し、これまでの生活ぶりを大切にしながら自分らしく生活できるよう支援している。
- 利用者一人ひとりに寄り添いきめ細やかな支援の実施
事業所は2つのユニットに分かれ、それぞれのユニットに特徴があり、特徴を活かしたケアが行われている。食事のメニューも利用者の特徴に合わせて、それぞれ違うメニューが提供されている。排泄に関しては、一人ひとりの排泄チェック表があり、失禁状況等みながら利用者に合わせた対応が行われている。排便管理は薬に頼らない工夫を行い、水分の促し、牛乳の提供等、日常生活の支援の中で自然排便を心掛けている。それでも排便がない場合は、医療機関との連携を図り薬の処方が行われている。入浴に関しても計画は組まれているが、その日の体調、気分に合わせて臨機応変な対応が行われている。規則正しい日常生活を送ることで、利用者の健康管理、きめ細やかな支援が実践されている。